

2021年11月12日

各 位

会 社 名 フロンティア・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役 共同社長執行役員 大西 正一郎
 (コード番号：7038 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 コーポレート企画管理部門長 濱田 寛明
 (TEL. 03-6862-8335)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年2月9日に公表した2021年12月期（2021年1月1日～2021年12月31日）の連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	一 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,500	1,000	1,007	693	60.30
今回修正予想 (B)	5,700	500	510	340	29.81
増減額 (B - A)	△800	△500	△497	△353	—
増 減 率 (%)	△12.3	△50.0	△49.4	△50.9	—
(参考) 前期通期実績 (2020年12月期)	5,192	580	575	420	36.89

(注) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

(2) 修正理由

2021年12月期通期の連結業績は、売上高につきましては、経営コンサルティング事業において、積極的な人材採用の効果が見られたことや大規模クライアント案件が継続したことに加え、期中に新設したデジタル戦略室およびSR/IR戦略室が順調に立ち上がっており増収で推移しています。しかしながら、ファイナンシャル・アドバイザー事業においては、クロスボーダーM&A案件がコロナ影響により引き続き厳しい状況にあることに加え、今期中に見込んでいた大型M&A案件が成約に至らず予想を下回る見通しであり、再生支援事業においては、金融機関による企業への緊急融資の継続により、想定以上に再生支援のニーズが拡がらず減収で推移しており、連結売上高は前回発表予想を下回る見込みであります。

また、利益面につきましては、前述のファイナンシャル・アドバイザー事業と再生支援事業の減収を主たる要因として、前回発表予想を下回る見込みであります。

この結果、当期通期の連結売上高予想は前回発表予想差△800百万円の5,700百万円、営業利益は△500百万円の500百万円、経常利益は△497百万円の510百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は△353百万円の340百万円となります。

なお、2021年2月9日に公表した2021～2023年度中期経営計画の目標につきましては、現時点では変更はありませんが、今後、計画目標の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

(注)上記業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上